



特集1	P ②
英語による絵本の読み聞かせ会 特別編	
特集2	P ②
ワンクリックで使うルビ振り機能について	
特集3	P ③
平成31年度 留学生等による国際理解学習 支援プログラム	
事業報告	P ④-P ⑤
日本語ボランティア スキルアップ研修会 ほか	
私、岡山に住んでいます	P ⑥
チア・アーウィンさん(マレーシア出身)	
世界の文化	P ⑦
～私の国の母語習得方法編～	
Think Global, Act Local ～県内国際団体のご紹介～ 倉敷善意通訳会	P ⑦
報告	P ⑧-P ⑨
平成31年度 「国際理解学習支援プラン講師派遣事業」ほか	
語学講座	P ⑩
日本語講座 ほか	
イベントカレンダー 情報相談コーナー・ 図書資料室ボランティア研修会 ほか	P ⑩

おかやま 国際交流



ガーナの衣装を着たダーコさん

「Head Shoulders Knees and Toes」の体操

「The Snail and The Whale」の始まりです

英語による絵本の読み聞かせ会 特別編

11月23日(土・祝)



こちらのQRコードを読み取り、
動画をご覧ください。

岡山県在住の外国人4名と日本人4名を講師に迎え、開催しました。
子どもたちと保護者、外国人計72名が集まりました。体を動かす体操からは始まり、1冊目の絵本では果物と動物の名前を英語で言いました。2冊目の読み聞かせでは、講師が絵本に合わせて効果音を作成しました。波の音や鯨の鳴き声が出て、本当に海の近くにいるような気がしました。ガーナの紹介ではワニの背中に座れる自然公園があることを教わり、シンガポールの紹介では淡路島ほどの大きさの国に多文化・多民族が共存していると学びました。また韓国のゲームを2つして、盛りだくさんの会となりました。
(詳細は、次ページをご覧ください。)

特集1

英語による絵本の 読み聞かせ会 特別編



講師

クツ・ポビーさん(カメラマン、米国出身)
 ダーク・イエボア・ヨコベルさん(主婦、ガーナ出身)
 チャン・ウンシルさん(韓国語講師、韓国出身)
 赤澤 栄里子さん、阿部 茉莉さん、井場 俊栄さん、武田 恭子さん(岡山県国際交流協会ボランティア)
 大脇 弘嗣さん(岡山県国際交流協会職員、シンガポール出身)



「Head Shoulders Knees and Toes (頭と肩、ひざとつま先)」の体操から会がスタートしました。講師のチャンさんと井場さんは、時々言葉をとぼしたり、スピードを速くしたりし、子どもたちは一生懸命ついていきました。



皆で列車になってトンネルをくぐりました

と、小さい子どもたちは「どこ?」とまわりを見渡しました。

続いて、チャンさんと井場さんによる韓国の列車のゲームを行いました。日本の「とおりゃんせ」に似た、歌が終わると門が閉まって閉じ込められてしまうゲームでした。



読み聞かせの様子

1冊目の絵本は、「Handa's Surprise(ハンダのびっくりプレゼント)」。ダーコさんの英語での読み聞かせのあと、武田さんが日本語で1ページずつ読みました。

2冊目の絵本「The Snail and The Whale (カタツムリと鯨)」では、はじめに赤澤さんによる日本語での紹介があり、その後クツさんが英語で読みました。クツさん作成の波の音が聞こえ



ガーナのトウィ語であいさつしました

その後は講師の母国紹介です。ダーコさんと阿部さんによるガーナの紹介では、ガーナの言葉、トウィ語であいさつをしました。また、大脇さんの母国シンガポールについてクイズを通して学びました。

最後に、韓国のゲームをもう一つチャンさんと一緒にして、みんなと楽しく過ごした会は終了しました。

特集2

つた ほんご がいこく かた じょうほう はっしん
 伝わりやすい日本語で外国の方に情報発信

ワンクリックで使うルビ振り機能について

協会ホームページでは、多言語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語)の翻訳機能のほかに、漢字にふりがなをつけるルビ振り機能を新しく導入しました。

この機能を利用することで、日本語に不慣れな県内在住外国人や旅行者、また初めて日本語を学ぶ方でも容易に情報を得ることができます。そして、災害や緊急時に掲載される情報を素早く受け取るのにとても有効です。外出時にも手軽に活用できるよう、スマートフォンなどの小型電子機器にも対応しています。

近所に住む外国のお友達や知り合いの方と、ぜひ使ってみてください。

スマートフォン

「ふりがな」ボタンの「ON」を押すと、文章にふりがなが表示されます。

パソコン

「ふりがな」ボタンの「ON」を押すと、文章にふりがなが表示されます。

平成31年度 留学生等による 国際理解学習支援プログラム



ゾウさんを囲んで給食交流
(9月18日(水)矢掛町立三谷小学校)

概要

このプログラムは、県内の大学に在学する留学生を小学校に講師として派遣し、文化紹介や遊びを通して子どもたちと留学生が相互に異文化理解を図るものです。直接的な触れ合いから、子どもたちはさまざまな文化を肌で感じ、世界との関わりを学びます。世界への関心を深めることで、広い視野を持つこと、外国語学習の意欲向上につながることを期待し、今年度も10校で授業を行いました。



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

活動事例

●関連団体

岡山県教育庁義務教育課
公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会
岡山大学 岡山商科大学 岡山理科大学

●派遣留学生(全22名)

アフガニスタン2名、イエメン1名、インド1名、インドネシア2名、ウズベキスタン1名、ガーナ1名、シリア1名、スペイン1名、スリランカ2名、中国5名、ドイツ1名、バングラデシュ1名、ベトナム1名、ミャンマー2名 (50音順)

●派遣小学校(全10校)

赤磐市立山陽東小学校、井原市立高屋小学校、里庄町立里庄西小学校、玉野市立荘内小学校、新見市立思誠小学校、備前市立伊里小学校、真庭市立余野小学校、美作町立柵原西小学校、矢掛町立三谷小学校、和気町立佐伯小学校 (50音順)

7月16日(火)

備前市立伊里小学校 6年生49名

派遣
留学生

カスノビッシュ・アヌシカさん(インド)
コラムナ・ティリニ・パーギャーさん(スリランカ)
シャン・ランさん(中国)

授業の様子

子どもたちが事前に学習準備していた外国の文化について調べていたことを発表し、その後、留学生が世界地図や画像を使って自国紹介をしました。遊びの時間では、福笑いや絵しりとり、そして手作りの日本地図のすごろくを一緒に楽しみました。子どもたちは積極的に留学生と交流し、笑顔あふれる時間を共有しました。子どもたちは先生と一緒に温かく留学生を迎え、和気あいあいとした雰囲気の中で授業をすることができました。



手作りの日本地図すごろくを楽しむ
カスノビッシュさん

9月20日(金)

里庄町立里庄西小学校 6年生57名

派遣
留学生

アクター・ファティマさん(バングラデシュ)
アブドゥラエフ・ウルベルクさん(ウズベキスタン)

授業の様子

体育館で留学生による自国紹介があり、その後、英語を使った自己紹介ゲームをして交流しました。子どもたちは自分の名前と好きなことを紹介し、ハイタッチや握手をして留学生とコミュニケーションを図りました。その後、漢字ビンゴゲームや新聞紙陣地取り、手作りかるたなど日本のゲームをしました。漢字やひらがなについて子どもたちが留学生に教えるなど、相互に協力しながら、言語や文化を超えて交流を楽しみました。



子どもたちの質問に答える様子

9月18日(水)

矢掛町立三谷小学校 1～6年生68名

派遣
留学生

アプリリア・ヌア・フィットリアンティさん(インドネシア)
ゾウ・ヘティット・ウイントさん(ミャンマー)
塗^{チキョウ} 智強さん(中国)

授業の様子

1・2年生、3・4年生、5・6年生に分かれて授業をしました。それぞれのクラスで留学生による自国紹介があり、その後、インドネシアのじゃんけん列車ゲーム、ミャンマーのボール遊びやペアを作る遊び、中国の鷹と雛の追いかっこをして交流しました。給食交流の時間にはすっかり打ち解けて、習った国のことや遊びのことを積極的に質問する子どもがおり、留学生はとてもうれしそうでした。子どもたちは、外国で生活する人々や文化をより一層身近に感じることができました。



自国紹介をするアプリリアさん

11月26日(火)

真庭市立余野小学校 1～6年生17名

派遣
留学生

アチャポン・ダニエルさん(ガーナ)
ガムキン・ハッサンさん(シリア)
ブイ・タン・ホアさん(ベトナム)

授業の様子

最初、子どもたちから留学生へ英語による自己紹介がありました。みんな一生懸命練習していた様子で、留学生たちはほほえみながら拍手を送っていました。留学生による自国紹介には、興味津々な様子で聞き入り、質問もたくさん挙がりました。その後、ベトナムのドラゴンスネイクという追いかっこをして遊びました。英語で1から10まで数を数える場面では、子どもたちは大きな声で復唱していました。一緒に身体を動かして交流することで、国境を超えて素敵な時間を過ごせました。



ベトナムの遊び
ドラゴンスネイク(追いかっこ)の様子

日本語ボランティアスキルアップ研修会

11月9日(土)

講師：ルーテル学院大学教授、公益財団法人三鷹国際交流協会代表理事 ジャン・プレゲンス氏



講師：ジャン・プレゲンス氏

「何を、どう教えたらいいですか?」をテーマに開催し47名が参加しました。

米国出身の講師は、日本人は「すみません。どうも。ちょっと」などあいまいな表現でも文脈や状況などから相手の意図を汲み取れるが、はっきりと言葉で表現する外国人には難しいと自身の経験を交えながら話しました。加えて、あいまいな表現が日本語を難しく感じさせる一つでもあるが、日本では相手を配慮する言葉でもあり覚える必要があると述べました。

思春期までは、母語と異なる言語でもネイティブのように自然に習得ができるが、大人になると文法や発音など母語との共通点が多いか少ないかによって習得の難易度が異なると学びました。

講師の視点から見た日本語は、日本語母語話者では気がつかないことが多くあり、新しい発見やヒントを得ることができました。

参加者からは「豊富な経験から示唆に富んだ話が聞けて良かった」との声がありました。



熱心に耳を傾ける参加者

国際スポーツ交流会(ピンポンde交流!)

11月30日(土)

講師：有限会社萩原卓球用具店 小山 裕司氏

アシスタント講師：臼杵 紫氏、福永 加奈氏、藤本 哲平氏

「卓球大好き!」「卓球初挑戦!」「外国人と交流したい」と参加理由もレベルもさまざまな韓国、タイ、中国、日本、パキスタン、米国、香港出身の計28名の参加者が1チーム4人に分かれ、和気あいあいとした雰囲気ですべてを繰り広げました。

講師の指導を受けたり、同じチームのメンバーと話をしたりする中で、参加者の緊張も解けて楽しくゲームを体験しました。試合が進むにつれてチームの絆も強くなり、優勝を目



試合の様子

指して最後まで戦いました。

小さい子どもは子ども専用のテーブルで講師の説明を聞きながら汗を流しました。親子とも外国人と交流をしながら楽しんだ貴重な機会でした。



集合写真



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

地球市民講座 中東の難民問題と現状

12月8日(日)

第1部：映画上映会「君たちを忘れない～チョン・ウソンのイラクレポート～」

第2部：講演会「シリア内戦と難民問題・パレスチナ難民たちの70年と現在」

講師：元朝日新聞記者、中東ジャーナリスト 川上 泰徳氏

第1部では、UNHCR親善大使を務めている韓国の俳優チョン・ウソンさんがイラク難民キャンプで出会った難民の姿を追ったドキュメンタリー映画を通じて、難民の現状を生々しく感じることができました。難民の中でも一番の弱者である障がい者の子どもが、厳しい環境の中でも夢をあきらめず前向きにがんばっている姿を見て心を打たれました。



映画上映会

ボートに乗船した経験を持ち、中東ジャーナリストとして活躍している川上 泰徳氏の経験談を交えた講義を興味深く聞きました。シリア難民問題、パレスチナ問題、イラク戦争、アラブの春、イスラム国の講義があり、中東問題の究極的な解決策は何かについて考えました。21名の参加者にとって中東情勢への理解を深める良いきっかけとなりました。



講演会の様子

災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)研修事業 第1回「外国人と共に学ぶ災害時対応」研修会

12月15日(日)

共催：岡山県、岡山市

講師：NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事 柴垣 禎氏

災害時の外国人被災者の支援を迅速かつ円滑に行う体制づくりを目指して、岡山県災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)のスキルアップと新規登録者の獲得を目標に研修会を開催し、外国人11名を含む40名が熱心に学びました。

はじめに、岡山県国際課の大深 元裕主幹が岡山県の在留外国人の状況や新しく創設された在留資格、災害救援専門ボランティアの制度について説明しました。

続いて、講師の柴垣 禎氏が「災害時多言語支援センターの役割と災害時の通訳翻訳」と題して講義をしました。



講師の柴垣 禎氏



岡山県国際課による説明

地震や台風などを知らず、災害時にどう行動をしてよいのか分からない外国人が多いとし、相手の状況や必要と

していることをよく確認することや、外国人を孤立させず平時から助け合える関係を構築することの重要性を説きました。講義の合間にはグループでの話し合いも行われ、さまざまな国の人の災害への意識や外国人支援に対する意見が聞けて勉強になったと好評でした。

参加者からは「外国人だけが知らない情報を補ってあげることが重要であると分かった」「ただ通訳や翻訳をするのではなく、寄り添うことが大切だと再認識した」との感想が寄せられました。この研修会で、新たに8名が災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)に登録しました。



グループで意見交換をする参加者

留学生と県民との交流会 特別編

12月21日(土)

講師：カハラファラ・モハメッドさん(米国)、グリーン・アレクシーさん(米国)

ハンター・レベッカさん(英国)、チュオラート・マリアンナさん(イタリア)

フォルネリス・アルベルトさん(イタリア)、ヴェレナ・ジャスティン・アリオラさん(フィリピン)

トシェバ・テレザさん(ブルガリア)、ブイ・タン・ホアさん(ベトナム)、ジユウ・ガン・ハーさん(ベトナム)

スー・サンディ・ウイントさん(ミャンマー)



アオザイを着たベトナムのブイさん(左)とジユウさん(右)

大人から子どもたち、岡山県在住の外国人合わせて88名の参加者が集いました。

講師として、イタリア、英国、フィリピン、ブルガリア、米国、ベトナム、ミャンマー出身の岡山に在住している留学生を10名迎えました。

留学生による自国紹介では、国の基礎情報や特徴、伝統料理、民族衣装、観光名所について話がありました。ベトナムのブイさんとジユウさんは美しいアオザイで登場し、ベトナムの文化を紹介しました。

留学生たちと参加者とのグループトークでは、留学生の出身国や文化、岡山での生活についてさまざまな質問が飛び交いました。講師の多くは、日本のアニメや本、音楽や食べ

物が好きということで、それらに関する話題で盛り上がり、お互いの文化を尊重しながら笑顔で交流を深めています。

最後に留学生が自国にちなんだ問題を出し、参加者はチームに分かれて協力しながら回答しました。世界のいろいろな地域の留学生と歴史や文化を学び、触れ合うことで広い世界を肌で感じることができました。



クイズ大会中の留学生の様子



たくさんの参加者が集いました

「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

就実小学校の全学年に英語イマージョン教育を広めるチア先生。画期的な方法で、算数、図工、体育の科目を英語で楽しく学べるように、ICT(情報通信技術)と合わせて子供たちに指導しています。

チア先生はマレーシアで日本人の奥様と出会い、結婚を機に岡山に移住しました。現在は4歳と1歳の娘を持つ父親です。チア先生のこれまでの歩みと仕事への熱意を紹介します!

一マレーシアから日本へ

小学校5年までマレーシアに住んでいましたが、父親が教育の研究者であり、奨学制度を通してイギリスに家族で移住することになりました。中学校は現地の公立学校で、高等学校からは、再びマレーシアに戻って就学を続けました。



家族にぎやかに

自国の大学では、マルチメディア・デザインを専攻し、卒業後、IT企業や国際的な広告関連の企業で仕事を経験し、教育機関における授業のカリキュラムや学習ツールの開発、運営支援から広告業まで幅広い業務を行っていました。

当初から、故郷を出て海外で働きたいと思っていましたが、まさか日本に移住して、岡山で暮らすことになるとは想像していませんでした。

一IT企業から教師の道へ

結婚後、来日した当時は日本語の語学力がなかったため、限られた職種の中で選んだのが、地域にある小学校や語学学校で英語教育を推進するALT(外国語指導助手)の仕事でした。両親ともにマレーシアで教育関係者(父は中学・高等学校の校長、母は教師)だったので、周りから自分



多様な個性を持つ子どもたちと向き合う
(参照)<https://www.shujitsu-e.ed.jp/englishimmersion/>

未来ある子どものために

学校法人就実学園 就実小学校
イマージョン教育コーディネーター

チア・アーウィン さん

Erwin Chia
(チア先生)

出身：マレーシア



に寄せられている大きな期待がある一方、自身は教育者への道には進みたくありませんでした。

しかし、今振り返ってみると、教師としての道は必然的で運命かのように感じます。子どもから保護者まで多くの人と触れ合う機会が与えられて、今は教師以外の仕事は考えられません。

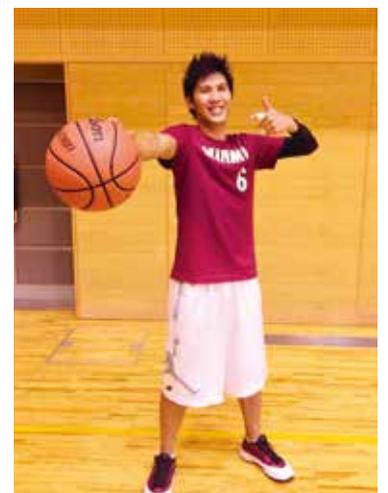
一生まれ故郷と岡山

日本に住み続けたい理由の一つに、地域の安全面があります。祖国では、子どもたちだけで外で遊んだり、一人で学校に行かせたりすることはとても危険です。岡山において、安心して子育てできる環境にあることは恵まれています。また、趣味のバスケットボールや魚釣りを通じて近所の人との交流をもったり、マレーシアにはない四季折々の大自然を味わえたりすることは魅力的ですね。



同僚と釣りを楽しむ様子

11年間の在住を通して、岡山の地域の人々に受け入れられていることがとてもうれしく、自分が“訪問者”としてではなく、同じ地域に住む一個人として実感ができ、岡山での暮らしが自分の“ホーム(home)”といえます。協働の力で、多文化共生の町を共に作り、この地域をもっとよくしていくことを目指していきたいです。



長年のバスケットへの情熱も

一教師としての使命

日々、子どもたちの成長を目の当たりにし、一人ひとりの歩む道に、直接、影響を与えられることが私の喜びです。これからの学校教育は、先の見えない未来について、次の世代を担う子どもたちの「生きる力」を育てていく責任があります。また教師が、変わりゆく時代の中で価値のあるものを児童に届けるために、自らの教育実践の成果や反省を生かし、常に子どもたちの将来のことを考え大切なことを見極める必要があると感じます。

小学校入学の子どもたちがひらがなの練習をするこの季節。ほかの国ではどのように母語を習得するのか聞きました。

イエメン



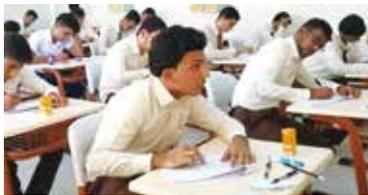
ブオマル・ハニ・マハムード・ムハンマドさん
(ムカッタ出身)
岡山大学大学院自然科学
研究科学際基礎科学専攻/
滞在歴1年6か月

私の母語はアラビア語です。アラビア語には公式な場所やニュース番組、書籍などで使われる「フスハー」と、日常会話やSNSで使う方言「アーンミーヤ」の2種類があり、イエメンでは幼い頃からそれぞれを学びます。

アーンミーヤは暮らしの中で比較的自然に身につきますが、フスハーはコーラン（イスラム教の聖典）に使われている言語であり難しいので、努力が必要です。文字は語頭・語中・語末・独立形で形が変化しますので28文字を4通り覚えなければなりません。さらに母音の省略、文字を続けて書く筆記法、小学校4年生からは文法の学習が始まり難易度が増します。習得には長い道のりですが、地域のモスクが日本でいう塾のような学習サポートしてくれたこともあり、私にとって母語学習は楽しいものでした。



アラビア文字の学習



アラビア語の試験

ナイジェリア



イモー・オディリッチさん
(アビア州出身)
岡山大学大学院環境生命科学
研究科農生命科学専攻/
滞在歴1年6か月

私の母語は英語です。小さい頃は家族にアルファベットなど初歩的なことを教わり、その後は6～14歳の9年間の義務教育期間と高校の3年間で学びました。宿題がたくさん出ますし、テストもたびたび実施されるような大変な授業が多かったです。学習に追いつくために、書店で英語の問題集を購入して自習することもたくさんありました。

私にはもうひとつの母語があります。それはナイジェリアの南東部で話されているイボ語です。声調のある言語で、身の周りの人たちとの会話で自然にそのリズムや音の高低を身につけました。私の家では日常は主に英語を使って暮らしていますが、話す時などに気分がのってくるとイボ語に切り替わることがよくあります。話していて何だか楽しい気持ちになるので、私はイボ語を習得してよかったと思っています。



イボ語の単語



Think Global, Act Local
県内国際団体のご紹介

倉敷善意通訳会



設立日と団体概要

1987年1月12日、倉敷を中心に県下の善意通訳者を母体とし外国人を無料支援する団体として設立。活動の柱は、①観光のため来県した外国人観光客への通訳ガイド②言葉の不自由な外国人への日本語学習③行事、文化の交流活動を通じ外国人との相互理解を図る④広報活動および会員の勉強会です。

代表者 坂川 知幸

連絡先 E-mail:GWG_kurashiki@kurashiki-v.net

活動紹介

旅行などの短期的な訪日外国人と、近隣在留外国人の両方を支援する活動を行っています。観光ガイド活動は倉敷美観地区だけでなく、近年は岡山後楽園・岡山城、児島や吉備路など多方面に広がっており、それに合わせて研修会も行っています。日本語学習支援は学習者の要望に合わせて学習を進め、会が開催するさまざまなイベントを通して、相互的な文化交流・理解を図っています。



2016年7月
在住外国人とともに
七夕会を開催



2019年11月 岡山城にて
岡山市ボランティアガイド者を
招き研修会を開催



平成31年度「国際理解学習プラン講師派遣事業」報告

専門的知識と国際経験を有する県内のNGOを学校の授業の講師として派遣しました。6団体が県内15の小・中学校で学習プランを実施しました。

派遣団体	実施校	プラン名／実施内容
ダフェプロジェクト	倉敷市立上成小学校 倉敷市立玉島南小学校	【多文化共生を考えよう「お隣は外国人」】 ネパールの遊びや民族衣装など文化の紹介を留学生を交えて行った。
特定非営利活動法人 AMDА社会開発機構	岡山県立芳泉高等学校 岡山県立岡山南高等学校 倉敷市立本荘小学校	【参加型ワークショップで感じよう!考えよう!世界と「わたし」】 世界の多様性をワークショップで学び、問題解決に向けたプレゼンテーションを行った。
特定非営利活動法人 国際文化友好協会(ICFA) 岡山支部	赤磐市立豊田小学校 玉野市立宇野小学校	【知ることから始まる国際理解】 外国人と児童の双方向で自国の紹介をし、ともに活動することで交流をした。
岡山ユニセフ協会	矢掛町立小田小学校 赤磐市立山陽東小学校 岡山市立福渡小学校 赤磐市立山陽小学校	【ユニセフから知る世界】 ブルキナファソの現状を学び、世界の一員としてどのように行動するべきか考えた。
アジア農村協力ネットワーク岡山	玉野市立山田小学校 赤磐市立磐梨小学校	【食べてつながる世界の国々どんな国でどんな風にお米を食べるのか】 多様な食文化や各国の農業について、世界の米料理の調理をしながら理解を深めた。
特定非営利活動法人 岡山日本語センター	岡山市立操山中学校 瀬戸内市立行幸小学校	【お互いの言葉・文化を尊重して、多文化共生を考えよう】 岡山の国際化の現状を学び、世界の工芸品に触れながら在住外国人と児童生徒が交流した。

平成31年度「NGOの活性化支援事業」報告

民間の国際交流団体等の国際交流事業などを支援するため、下記3団体に助成を行いました。

団体名	事業名	実施内容
一般社団法人 新見青年会議所	TAKE A STEP FORWARD! ～踏み出そう!世界への一歩～	台湾中市教育局と台湾静宜大学の協力のもと、希望する小学生らを引率して台湾を訪問し、異文化交流を行うことで国際理解の視点を養った。
漢字道場	外国籍児童および生活者のための 日本語教室	外国籍児童・生徒を対象に、漢字習得を中心に日本語学習の指導や宿題のサポートをし、大人向けの日本語指導を行った。
ダフェプロジェクト	在岡ネパール人のための無料生活相談 および生活情報発信	岡山県在住ネパール人を対象に無料生活相談窓口を運営し、関係機関の紹介やサポートのほかネパール語での情報発信を行った。

平成31年度「日本語教室開設・活動支援事業」報告

団体名	事業名	実施内容
倉敷日本語教室	日本語指導者スキルアップ講座	日本語能力試験N3の指導方法や、特に指導が難しいとされる読解を中心に、実践的に学ぶ講座を開催した。
勝央にほんご教室	日本語教室開設等支援助成金事業	日本語能力をアップさせ、仕事や日常生活に困らないようするための日本語を指導した。
日本語支援・みまさかの会	日本語教室開設等支援助成金事業	技能実習生を受け入れて、日本語を指導した。

平成31年度「災害時の外国人セーフティネット構築事業」報告

近年、訪日する外国人旅行者や外国人住民の数が過去最大を記録している中で、大きな被害をもたらす自然災害が頻繁に発生しており、外国人に適切な避難行動を促すために災害に関する情報を確実に伝達することが必要との認識が強まりました。また、平成30年7月豪雨では、地域コミュニティから孤立した外国人たちが被災地の情報を得ることができず、適切な支援を得られなかった事例がありました。

「災害時外国人セーフティネット構築事業」は、外国人支援のキーパーソンの役割を担う「災害時多言語支援リーダー」を発掘して、大規模災害が発生した際に外国人被災者を支援する環境を整えることを目的としています。

リーダーは、災害時多言語支援センター(※)がホームページやSNS等で発信する災害情報を積極的に拡散するとともに、近隣の避難所等へ赴くなどして外国人被災者のニーズを把握し災害時多言語支援センターへ伝達することで、外国人を救援します。

過去の災害を踏まえて外国人対応に関する課題を認識していくとともに、災害時多言語支援リーダーのさまざまな経験や知見を踏まえ、リーダーの役割についても模

索していきます。

12月15日(日)には、リーダー候補者が第1回「外国人と共に学ぶ災害時対応」研修会に参加して災害時の外国人支援について理解を深め、続いて開かれた「災害時多言語支援リーダー募集説明会」では、リーダーの役割について意見交換を行いました。その後、井原市(1名)、岡山市(4名)、倉敷市(2名)、早島町(1名)から計8名が災害時多言語支援リーダーに登録しました。今後も外国人住民が安心して生活できる地域づくりの一環として積極的に取り組んでいきます。



災害時多言語支援リーダー募集説明会の様子

※災害時多言語支援センター…大規模災害時に、外国人被災者への支援が必要と判断されたときに、岡山県と当協会が協議して開設が決定されます。災害関連情報の多言語による提供など、県内の外国人被災者への広域的な支援を行う活動拠点として岡山国際交流センター内に設置され、職員やボランティアにより運営されます。

会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員：2,000円 団体会員：10,000円
賛助会員：30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail:kokusai@opief.or.jp



日本語講座

毎週火曜日から土曜日まで、日本語講座を実施しています。講座を希望する方は、岡山国際交流センター1階 情報相談コーナーでお申し込みください。

- と き 火曜日 10:00~11:40 / 18:30~20:10
水曜日 10:00~11:40 / 18:30~20:10
木曜日 10:00~11:40
金曜日 10:00~11:40
土曜日 15:10~16:50
- 受講料 無料(ただし、ジャパニーズクラス会員(会費2,000円)に入会が必要です)
- 定員 入門~中級、各講座25名
- その他 1人2講座まで

韓国語講座

韓国語に興味のある方のご参加をお待ちしています。
※受講生と一般県民を対象とする韓国語特別講座を実施予定です。
(1回のみ/8月予定)

- と き 入門:令和2年5月20日~令和3年3月3日 第1・3水曜日
初級:令和2年5月13日~令和3年3月10日 第2・4水曜日
会話:令和2年5月15日~令和3年3月5日 第1・3金曜日
時間:18:30~19:40(全20回)(日程は変更することがあります)
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 対象 入門:韓国語を初めて学習する方
初級:韓国語の文字を覚えている方、入門段階を終えた方
会話:簡単な文法を覚えて自分の感情などが話せる方
- 受講料 8,000円(協会会員)、10,000円(一般)(全20回、テキスト代別)
- 定員 各25名(要申込み)
- 申込み 企画情報課(4月13日(月)受付開始)

インドネシア語講座

インドネシア語は世界で最もやさしい言語の一つと言われて
います。無料体験が1回できますので気軽に挑戦してください。

- と き 土曜日 13:00~14:45
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室
- 講師 県内在住インドネシア出身留学生
- 受講料 15,000円(1年間、テキスト代別)
- 定員 25名
- 共催 岡山インドネシア友好協会
- 申込み 岡山インドネシア友好協会 谷本氏
TEL: 086-277-0329 / 090-1181-0754

中国語講座

中国出身の留学生が講師となり、レベル別に指導します。各クラス
無料で1回ずつ体験できますので、自分に合ったクラスを選べます。

- と き 土曜日 10:00~11:30(上級A)
土曜日 17:40~19:10(入門)
土曜日 19:20~20:50(初級)
日曜日 10:00~11:30(上級B)
日曜日 17:00~18:30(中級)
※上級A、Bのレベルは同じです。
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室
- 講師 県内在住中国出身留学生
- 受講料 高校生以下 13,000円、大学生・協会会員 15,000円
一般 18,000円(6か月間、テキスト代別)
- 定員 各16名 ●共催 岡山県華僑華人総会
- 申込み 岡山県華僑華人総会事務局
TEL: 086-201-1076(月~金10:00~17:00)

EVENT CALENDAR

イベントカレンダー

※都合により、内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

4月

21日(火) 情報相談コーナー・ 図書資料室ボランティア研修会

活動内容について意見交換を行います。

- と き 令和2年4月21日(火) 10:30~12:00
- ところ 岡山国際交流センター 4階 交流サロン
- 内容 ボランティア活動内容についてほか
- 対象 当協会情報相談コーナー・
図書資料室ボランティア登録者
(新規にボランティア登録を希望する方も可)
- 参加費 無料
- 定員 14名程度(要申込み)
- 申込み 企画情報課

6月

21日(日) 留学生と県民との交流会

県内在住の留学生が講師となり、文化や習慣などの紹介を
します。ひとつの国をピックアップして開催する予定です。

- と き 令和2年6月21日(日) 13:30~15:30(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 参加費 協会会員・外国人・中学生以下 無料、一般 500円
- 定員 30名(要申込み)
- 申込み 企画情報課(5月中旬受付開始予定)

28日(日) 英語による絵本の読み聞かせ会

県内在住の外国人講師が英語で絵本の読み聞かせをします。
読み聞かせのあとは講師の母国の話を聞きます。

- と き 令和2年6月28日(日) 11:00~11:30(予定)
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 講師 県内在住外国人
- 対象 県内在住の子ども(3歳~小学校6年生)とその保護者
- 参加費 無料 ●定員 なし ●申込み 不要
- 問合せ 企画情報課

問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~18:00)

[休館日] 12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: https://twitter.com/opief_okayama

E-mail: kokusai@opief.or.jp

協会HP

